

投稿者：株式会社 菱秋木材 杉山 晃一さん

題名 「最就職先での苦労談」



私は、平成二十二年三月退職となり、現在は菱秋木材株式会社という集成材製造の会社に勤務し、早や一年になりやっと仕事に慣れてきたところです。

私は主として、出荷できる製品と、そうでない製品を判別するオペレーターとして、働いています。

現在では、ミスやトラブル等は、ほとんど少なくなってきましたが、会社に入社してからの八ヶ月間は苦労の連続でとても難儀をしました。

その中でも、印象に残っていることが二つあります。

一つは、製造工程において製品の寸法やシールの種類を間違っしまい製品として、使用できなくなってしまったことです。しかもこれは、一番やってはいけない事のひとつでした。当然取引先の方から、クレームがきて製品が返品されるからです。そのときは、幸いにも作業の途中で気づき、出荷までは至りませんでした。

もう一つは、木製品の欠陥品を見極めについてでした。

欠けや隙間などを多く見落としてしまい、商品として扱えないのがたくさんありました。そこで、私も元自衛官としての負けじ魂が沸々と沸き、ここでくじけたらここでの居場所がなくなると思い、いろいろな方法を考えて見つけられるように、工夫しました。その結果、今では製品として使える見極めが以前より格段と向上し、ようやく会社のために少しは貢献できるようになり、充実した毎日を過ごしています。

特に私がミスしないために気をつけていることは、取引先の企業様のことを常に意識して作業に従事することです。信頼関係に大きく影響するものなので常に緊張感を持って作業をしています。

現在私は、機械を一人でまかされ、操業しています。

今でもわからないことがたくさんありますが、わからないことをそのままにしないで、先輩・上司などに積極的に聞いて、ノートに書きとめ少しでも早く上達できるよう技術の向上に努め、会社に大きく貢献していきたいと思えます。

最後に、これから再就職をされる隊員皆様のご活躍をお祈り申し上げます。